

私たちの力で、沼津駅の高架化を実現しよう



かけはし

主な記事

- 沼津駅周辺総合整備事業の地元説明会(1)
- 「市民の会」正副会長会議開催(2)
- 「まちづくりセミナー」(市民の会全体会議)開催のご案内(2)
- 先進地浜松視察参加レポート(2)

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410 沼津市御幸町14-5(沼津商工会議所内) TEL<0559>31-1111(代)・FAX<0559>31-1115

沼津駅周辺総合整備事業の

地元説明が始まる

幹線道路網と土地区画整理事業

沼津市が今後とも県東部地域の中心都市としての役割を果たしながら発展していくためには、魅力と活力にあふれた都心づくりが必要とされています。このため、市、市議会、21万市民が力を合わせて沼津駅周辺総合整備を推進してきましたが、計画づくりが進んできたことから、市では、幹線道路網と土地区画整理事業について、本年七月から八月にかけて地元説明会を開催いたしました。

そこで、市民の会事務局では、市民の皆さんにお知らせするため、計画内容を市に取材しました。

沼津駅周辺

総合整備事業の背景

沼津市は、これまで静岡県東部地域(圏域人口約百二十万人)の中心として栄えてきました。本市には、将来ともに、より高度で質の高い都市サービスを提供が期待される中核都市としての役割が課せられています。沼津市発展の原動力の一つとして、今までもそうであったように、これからも中核拠点性ということが重視されています。そのためには、都心部の機能強化を図る必要があります。市では総合計画(第二期基本計画)において、「感性を育てる都心づくり」をリーダーシッププロジェクトとして、活気に満ちた都心づくりを進めています。

また、本年四月、沼津市はじめ四市三町が地方拠点法にもとづく地方拠点都市地域に指定されました。沼津市の県東部地域での中核都市としての役割は以前にも増して一層重要となつてきています。

このように、県東部の中核都市にふさわしい魅力と活力ある都心づくりが沼津市の最重要課題であり、それを実現するための重点施策として沼津駅周辺総合整備事業があるのです。この事業は、沼津市の未来を築く上で、今こそなし遂げなければならない大変重要な事業なのです。

沼津駅周辺に

見られる課題

沼津駅周辺には解決が急がれる問題がいくつもあります。

その第一は、鉄道が市街地を分断していることです。沼津市の都心部は、鉄道を横断する幹線道路が少なく、道路の混雑や渋滞が著しく、市民生活に大きな障害となっています。また、駅周辺の土地利用も制約され、都心地区としての街の発展が阻害されています。

二つ目の問題は、鉄道周辺の市街地では幹線道路だけでなく生活道路や公園などの整備が不十分であり、また建て跡まりや建物の老朽化などのため、都市環境の改善と土地利用の整備を図る必要があります。

三つ目の問題は、国鉄清算事業団用地をどう活用するかということです。国鉄の民営化に伴う鉄道用地の整理・合理化により、駅北口に五・九haの跡地が生まれました。都心部にこれだけまとまった空き地が生まれるのは、これまで予想されなかったことですが、これからのあり得ないことでしょうか。沼津のまちづくりにとって、千載一遇のチャンスともいえるようなこの土地の活用によって、新しい時代にふさわしい都心整備の実現も夢ではなくなってきたのです。

沼津駅周辺

総合整備事業の概要

沼津駅周辺総合整備事業の目的は大きく三つに分けられます。

- 第一は、J.R東海道本線・御殿場線の沼津駅周辺の高架化です。
- 第二は、高架化する鉄道周辺市街地の道路・公園などの面的かつ一体的な整備です。
- 第三は、国鉄清算事業団用地などを活用した新しい拠点地区の開発整備です。

これらの目的を実現するため、いくつもの事業の実施が予定されています。

《鉄道高架事業》

まず、鉄道高架事業です。鉄道高架化は、中心市街地における南北交通対策や市街地の一体化を図っていくための重要な事業であり、平成三年度から、静岡県が中心となって計画づくりが進められているところで、内容は東海道本線と御殿場線の高架化、車両基地・貨物駅の移転が主なものですが、具体的な高架計画がまとまるまではもう少し時間が必要とのことです。

《土地区画整理事業》

国鉄清算事業団用地のほかにも、鉄道の高架化によって広大な跡地が生まれます。土地区画整理事業は、このような広大な鉄道跡地などを活用し、新しい街づくりを進めるために必要な事業です。

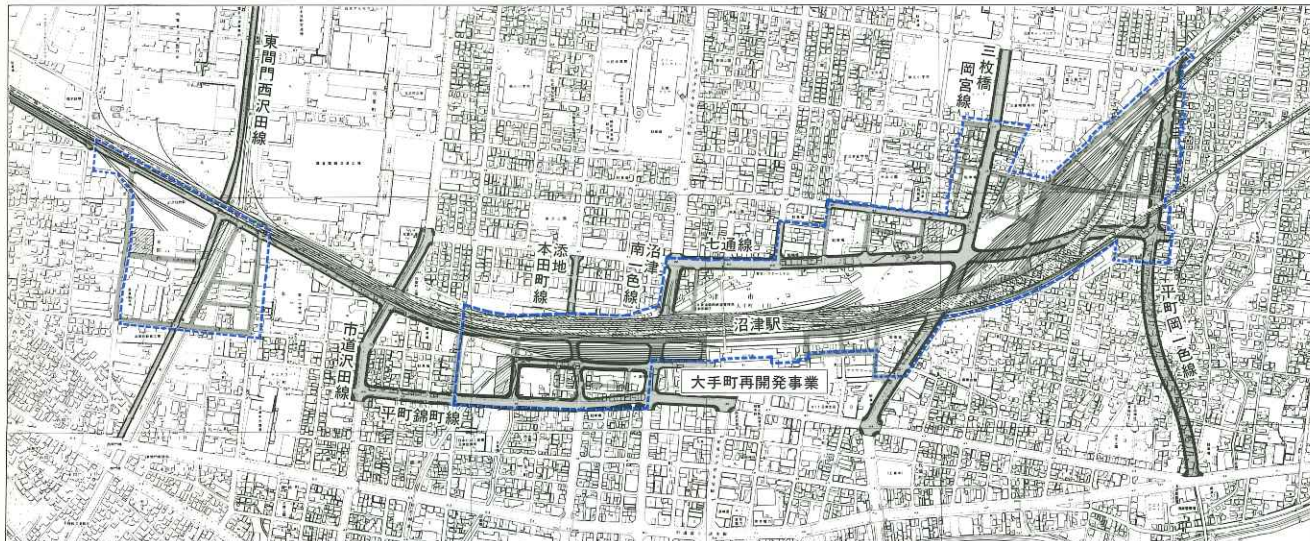
この事業によって道路や公園などの公共施設が整備され、生活環境の向上が図られます。また、県東部地域の拠点都市にふさわしい都市環境の創造も図られます。

《道路整備事業》

駅周辺地区の幹線道路は、別図に掲げられている路線を整備する計画となっています。

まず三つ目・中央の両ガードを拡幅・四車線化するとともにガードを埋め平面化します。その他にも、駅(二面最上段へつづく)

《沼津駅周辺総合整備事業案》



凡 例	-----	区画整理区域	■	都市計画道路	■	区画道路
	■	公園・緑地	■	鉄道高架用地		

(一面三段目より)

周辺の幹線道路の幅員や新設、南北方向の歩行者通路の整備などを進めていきます。主な新設道路としては、国道414号竹岬交差点と黒瀬橋とを結ぶ平岡一色線(四車線)、東西の西条交差点と駅北・高沢公園交差点とを結ぶ添地本町線(二車線)、駅北口と大岡吉とを結ぶ東西方向の七通り線(四車線)などです。これらの道路整備は、区画整理事業区域内は土地区画整理事業により整備を行っていくこととなります。このほか、駅北国鉄清算事業団所有地を活用した拠点施設整備を行うための計画づくりが進められており、地域振興整備公団による特定再開発事業や都市拠点総合整備事業などの実施に向けて、関係機関による調整が行われているとのこと。

このように、いくつかの事業を総合的に実施することによって、魅力と活力にあふれた、そしてうるおいとやすらぎのある新しい街づくりが進められていきます。

沼津駅周辺総合整備事業の実施に向けて

沼津駅周辺総合整備の計画づくりに当たって、市では、これまで多くのご意見や関係行政機関の方々のご意見を伺うとともに、関係地区の皆様からのご意見をいただくよう努めてきました。

そのような中、計画づくりが進んできたことから、駅周辺の幹線道路網と土地区画整理事業について七月から八月にかけて、地元説明会が開催されたものです。説明会はこれから開催が予定されているとすることで、私たちの夢を受け止めていただくこと、これらの事業の実施に関係する地域の皆さんのご理解、ご協力を得て、円滑に事業が進められるよう、市に一段の頑張りを要望しておきました。市民の皆さんも一層のご支援をお願いいたします。(事務局・山室)

駅周辺総合整備事業の概要を聴く

市民の会(正副会長会議)

「市民の会」(会長大橋光雄・商工会議所会頭)では去る七月十五日正副会長会議を開催しました。席上「駅周辺総合整備事業」の概要を、沼津市沼津駅周辺整備事務局から聴き、対応を協議しました。



商工会議所役員室にて



とき 十一月十一日(木) 午後一時三十分

ところ ブケ東海
テーマ 「駅周辺総合整備事業のあらまし」
ゲスト 沼津市都市計画部

沼津駅周辺整備事務局 開発課長 杉山 智氏
区画整理課長 神尾 眞氏

参加資格 だれでも参加できます
参加費 不要です
参加希望の方は直接会場にお出かけ下さい。

このセミナーは「市民の会」の全体会議として開催するものです。市民の会構成団体、グループにおかれましては、メンバーに参加を呼びかけて参加を促して下さい。なお、当日、沼津市長、沼津市議会議長の出席を予定しています。

私もひとこと

先進地浜松市・浜松駅の高架化と駅周辺総合整備事業を視察した

「市民の会」(会長大橋光雄 沼津商工会議所会頭)では去る九月二日、会員総勢三十五名が「鉄道高架化(JR線・遠鉄線)事業」、「駅周辺土地区画整理事業」、「駅周辺主要建築物の概要(駅前広場、サンクンガーデン、ギヤラリーモール、アクアモール、駅ビル・メイワン、遠鉄百貨店、フォルテビル、イトーヨーカ堂)」、「アクトシティ計画」の概要をつぶさに視察しました。

特にJR浜松駅の場合、事業主体は静岡県、総延長は五・三三キロメートル、事業費は二百五十七億円、昭和三十六年三月に鉄道高架化のため客貨分離を陳情し、昭和五十四年十月の供用開始まで約十八年間を要したといえます。そして現在来年の完成をめざしてアクトシティ計画が着々と進んでいます。ここでは今回の視察に参加されたお二人に感想を寄せていただきました。

悔いを残さぬ沼津市に

沼津ピア 上柳 八重子



落して初めてその物の価値を知る如く、且つて沼津市には

今も尚、幾つかの誘致事業の失敗談が後悔と無念の思いで残っており、私達は先代から受け継いだこの沼津市を、より発展させ次代に継承していく責任と義務があります。

今、二十一世紀に向けて沼津駅周辺総合整備事業として「沼津駅の高架化を実現しよう」と大きな夢と願いを持って動きはじめました。このたび市民の会主催の先進都市浜松の視察に参加させていただき、さすがに人口五十六万都市に発展したその素晴らしさに驚かされました。駅前広場西側の区域は商業施設としてビルが林立し、買物等の歩行者には「緑に水」せせらぎを配した広い歩道に、ゆとりとuringのおいのある、豊かな人間性を考慮した整備がなされ、人の流れにも活気とかか気品ある感じを受けました。東側街区は産

魅力あるまち・浜松

リコー通り商店街事務局長 長倉 保弘



浜松駅前を訪れることは、ここ二十年來なく、巷に様変わりしている

との事は聞いておりましたが、今回市民の会のご配慮により浜松市に行く機会を与えていただき、一日コースの短い時間内の視察でしたが、大変感銘を受けた次第です。特に鉄道高架事業について申しますと、事業主体は静岡県で、高架延長、東海道線五・三キロメートル、事業費二百五十七億円、昭和五十四年十月供用開始迄約十八年を費やし完成したとのこと、遠州鉄道の高架化事業も行い二・六キロメートル、昭和六十年二月に供用開始されたといっています。

長期で大事業であったが、都市の顔づくりである本事業は活性化に大きく貢献するものである。市民が一体となつて取り組む姿勢が重要であると浜松市の担当者の説明を受けました。

事業の効果としては、一、道路交通の円滑化が図られ、貨物ヤードが撤去されたこと。二、駅周辺土地区画整理事業で街の基盤が整備され、駅ビル、イトーヨーカ堂、遠鉄百貨店、フォルテビル等が完成。又アクト・シティが工事中であり来年十月完成予定。四十五階のアクタワーを中心に展示イペソトとなること受け合いです。三、駅前広場、アクアモール、サンクンガーデン等の快適な公共空間が整備され、浜松らしさが創出されたこと。四、周辺地区でも、地区整備が促進されつつあるなど、まちづくりに対



建設がピークに進む

編集後記

「沼津駅周辺総合整備事業」の概要が沼津市より発表された。「市民の会」では先ずは正副会長会議を開催し、市当局からその説明をうけた。その内容は「幹線道路網と土地区画整理事業」等である。市では関係自治会地区において地元説明会を開催した。「市民の会」の構成団体でも続々と説明会を開催し、その内容について理解を深めた。商工会議所(常議員会)、商店街連盟、沼津フォーラム、そして商工会議所(十部会合同会議)、商工会議所(総務サロンの)と続いた。「市民の会」ではまちづくりセミナー(全体会議)として、本紙で予告のとおり、きたる十一月十一日(木)開催する。したがって本紙では「駅周辺総合整備事業」について、その概要を、市民の会事務局が「市」に取材をして紹介した。県東部の中核都市づくりに不可欠の事業であると認識したい。

- 編集委員(順不同)
- 山室 公義 荻生 昌平
 - 金井 隆直 伏見 博行
 - 原 靖 原 康久